

CFS-PL / FS-ONE MAX

製品仕様書

2020年2月19日

日本ヒルティ株式会社



CFS-PL ボウカプラグ/ FS-ONE MAX 熱膨張性ボウカシーラントの製品概要

- 防火区画の丸穴ケーブル貫通向け成形済み防火措置製品とシーラント
- 本製品は、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号八(防火区画貫通部 1 時間遮炎性能)の規定に適合するものとして、国土交通大臣認定を取得しています。

特長

- 簡単な施工
- 成形品で一定の厚みをもつため、施工管理が容易
- 優れた遮音性能
- FS-ONE MAX 熱膨張性ボウカシーラント を壁と CFS-PL, ケーブルと CFS-PL などの隙間に充填することで気密性能を付加
- FS-ONE MAX 熱膨張性ボウカシーラント を隙間だけでなく、前面に追加塗布することで止水性能を付加*

*CFS-PL 単体では止水性能はありません。

製品仕様

製品名 / 製品番号	外径(最大)	対応貫通径範囲	厚み(最大)	発注単位
CFS-PL 2"*** / 2030021	60 mm	< 50 mm	75 mm	10 個
CFS-PL 107 / 2059530	117 mm	50 -107 mm	75 mm	8 個
CFS-PL 132** / 2059531	142 mm	107 - 132 mm	75 mm	4 個
CFS-PL 158** / 2059532	168 mm	132 - 158 mm	75 mm	2 個
CFS-PL 202** / 2059533	212 mm	158 - 202 mm	75 mm	2 個

**CFS-PL 2", CFS-PL 132, CFS-PL 158 は非在庫品扱いとなります。

製品名 / 製品番号	容量	容器外径	容器長さ (ノズルを除く)	発注単位
FS-ONE MAX / 2101534	300 ml	48 mm	230 mm	12 個

技術データ

CFS-PL 製品技術データ

使用温度範囲	-15 °C から 60 °C
作業温度範囲	5 °C から 40 °C
保管および輸送温度	-5 °C から 40 °C
材料規格	ポリウレタンフォーム、熱膨張材
使用期限	なし
熱膨張率	1:3
遮音性能	あり
気密性能	あり
止水性能	なし
用途	熱膨張性定型シール材

FS ONE MAX 製品技術データ

硬化後使用温度範囲	-20 °C から 100 °C
作業温度範囲	5 °C から 40 °C
保管および輸送温度	5 °C から 25 °C
材料規格	アクリル系樹脂、熱膨張材
使用期限	製造後 18 か月
熱膨張率	1:5
硬化時間	2mm/3 日
変形追随性能	±7.5%
止水性能	あり (UL1479)
気密性能	あり (EN 1026)
用途	熱膨張性シール材 (隙間充てん材)

CFS-PL 気密試験データ

差圧 [Pa]	漏気量 空気 m ³ /(h・m ²)
50	0
250	0

EN 1026 に従って実施。

FS-ONE MAX 気密試験データ

差圧 [Pa]	漏気量 N ₂ m ³ /(h・m ²)
50	0
250	0

EN 1026 に従って厚さ 50mm の試験体で実施。

工法仕様

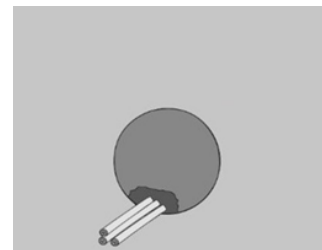
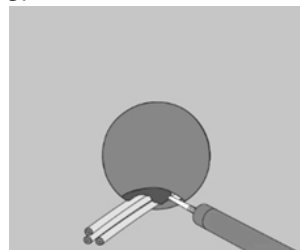
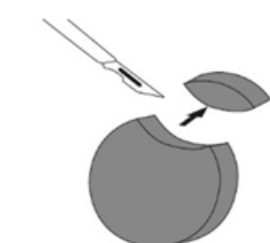
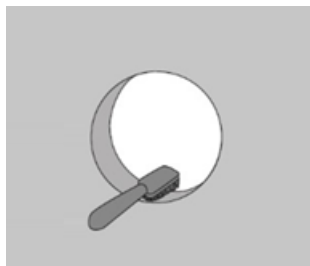
国土交通大臣認定番号	PS060WL-1090	PS060WL-1089	PS060WL-1093
対象母材	ALC 壁、コンクリート壁、 中空壁(厚み 0.2mm 以上の 鋼製スリーブ併用)など***	ALC 壁、コンクリート壁、 中空壁 (鋼製スリーブなし) など***	Sウォール
母材厚さ	厚さ 70mm 以上	厚さ 70mm 以上	厚さ 42mm 以上
貫通物	呼び径Φ42mm の CD 管または PF 管混在可 6600V 以下、導体 1 本あたり断面積 325mm ² 以下のケーブル		
開口径	Φ202mm 以下	Φ202mm 以下	Φ202mm 以下
占積率	63.1%以下	48.4%以下	43.9%以下

***建築基準法施行令 112 条第 2 項の規定に基づく準耐火構造 60 分 (ただし強化せっこうボードに限る) 及び建築基準法第 2 条第七号の規定に基づく耐火構造 (60 分) において、国土交通大臣が認めた壁

施工手順

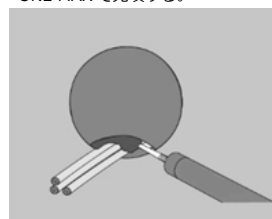
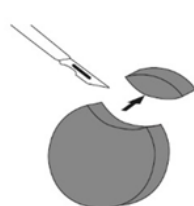
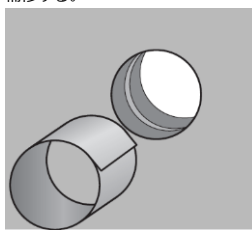
ALC 壁・コンクリート壁(PS060WL-1090)・Sウォールの場合 (PS060WL-1093)

- 1.開口部・貫通するケーブル・管等の回りのほこり・ごみ等を除去し、ケーブル・管等を通す。
- 2.CFS-PLをケーブル貫通に必要な面積に合わせて成形する。
- 3.CFS-PLを貫通部に挿入及びケーブル・管などを通線後、支持・固定する。隙間は奥行き 10 mm以上 FS-ONE MAX シーラントで充填する。
- 4.仕様どおりに施工されていることを目視確認する。



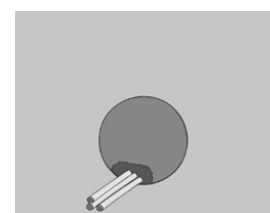
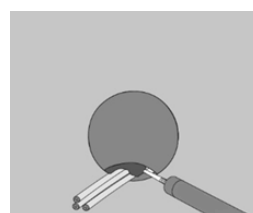
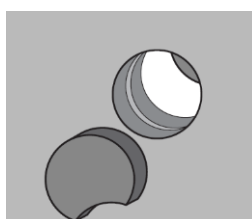
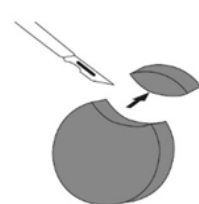
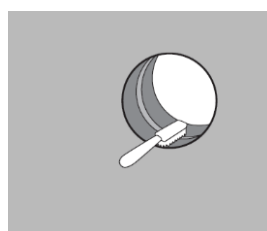
中空壁（鋼製スリーブ併用）の場合 (PS060WL-1090)

- 1.開口部・貫通するケーブル・管等の回りのほこり・ごみ等を除去し、ケーブル・管等を通す。
- 2.スリーブを挿入する。開口部とスリーブ周りに隙間がある場合には、その隙間を FS-ONE MAX を注入し補修する。
- 3.CFS-PL をケーブル貫通に必要な面積に合わせて成形する。
- 4.CFS-PL を貫通部に挿入及びケーブル・管などを通線後、支持・固定する。隙間は奥行き 10 mm以上 FS-ONE MAX で充填する。
- 5.仕様どおりに施工されていることを目視確認する。

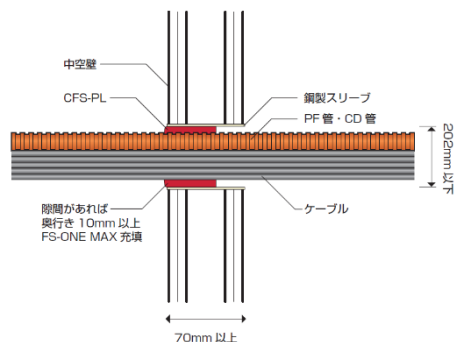


中空壁（鋼製スリーブなし）の場合 (PS060WL-1089)

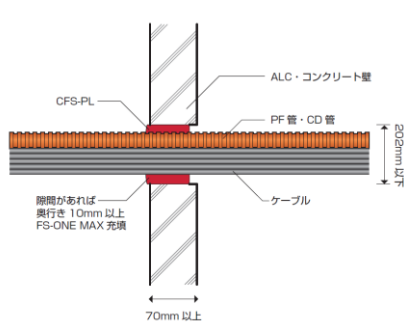
- 1.開口部・貫通するケーブル・管等の回りのほこり・ごみ等を除去し、ケーブル・管等を通す。
- 2.CFS-PL をケーブル貫通に必要な面積に合わせて成形する。
- 3.CFS-PL を貫通部に挿入及びケーブル・管などを通線後、支持・固定する。壁厚が CFS-PL より厚い場合は両側から CFS-PL を挿入する。
- 4.隙間は奥行き 10 mm以上 FS-ONE MAX で充填する。
- 5.仕様どおりに施工されていることを目視確認する。



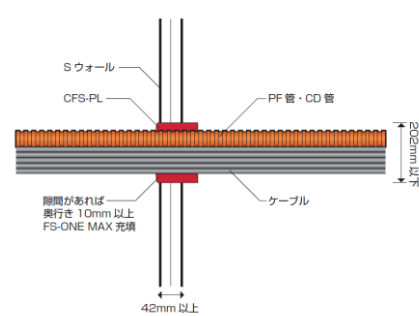
施工例



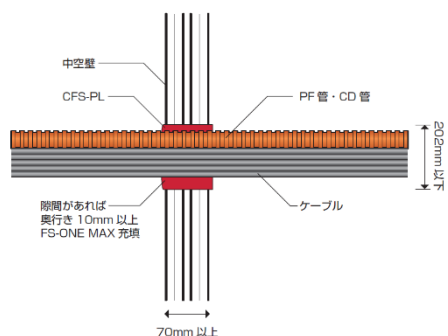
中空壁(鋼製スリーブ併用)の場合 (PS060WL-1090)



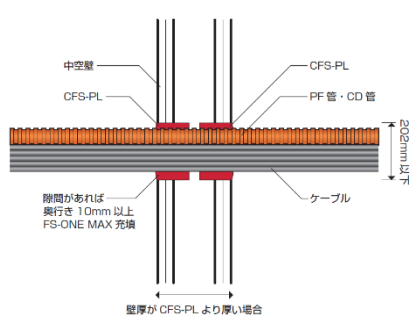
ALC壁・コンクリート壁の場合 (PS060WL-1090)



Sウォールの場合 (PS060WL-1093)



中空壁(鋼製スリーブなし)の場合 (PS060WL-1089)



中空壁で壁厚がCFS-PLより厚い場合 (PS060WL-1089)

注意事項

本仕様書記載の内容は、改良等のため、予告なく一部変更されることがあります。

施工前に必ず大臣認定書と安全データシート(SDS)をご参照ください。